

問合せ先
第二管区海上保安本部 海洋情報部
監理課長 狭間 徹
電話 022-363-0111 (内線 2510)



平成26年9月10日
第二管区海上保安本部
午後5時発表

水路記念日に伴う第二管区海上保安本部長表彰について

海上保安庁では、水路記念日に長年にわたり水路測量業務に従事するなど、海洋情報業務に多大な貢献をされた個人及び団体を表彰しています。

9月12日は、「水路記念日」となっています。これは、明治4年(1871年)、兵部省海軍部に水路局(現在の海洋情報部)が置かれたことで海図を作成する組織が発足し、日本人による近代的な海図作りが開始された事を記念して制定されたものです。今年は143回目の記念日にあたります。

本年、「水路記念日」に当たり、当管区管内においては、第二管区海上保安本部長から1個人を表彰することになりました。

第二管区海上保安本部長表彰

被表彰者	功績の内容
外屋敷 正一 (ほかやしき しょういち)	長年にわたる水路業務への従事及び発展への貢献

外屋敷正一さんに対し、第二管区海上保安本部長から、感謝状の贈呈を次のとおり行います。

- (1) 日時 平成26年9月12日(金)午後4時30分～
- (2) 場所 第二管区海上保安本部 本部長室

贈呈式の取材を希望される社は、9月11日(木)午後5時までに、当本部海洋情報部監理課(電話 022-363-0111(内線 2511))までご連絡をお願いします。

【参考】水路記念日について

明治初頭、近代国家の仲間入りをして国際舞台に立つため、海運のためにも国防の意味からも精度の高い「海図」が必要とされました。

明治4年（1871年）7月28日（旧暦）、兵部省海軍部に水路局（後の水路部、現在の海洋情報部）が置かれ、ここに、当時我が国の緊急課題であった船の安全を図るための海図を作成する組織が発足しました。

昭和26年（1951年）の水路部創立80周年記念事業を期に、毎年7月28日を水路部の創立の日として制定しました。その後、昭和48年（1971年）の創立100年に太陰暦から太陽暦に換算した9月12日を水路記念日としています。

発足当時の実務は、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所においてオランダ式の航海・測量術を学んだ津藩出身の柳檜悦（やなぎならよし）少佐〔初代水路部長〕を中心として、東京の築地にあった海軍兵学寮（後の兵学校）の一室で現在の水路業務の基礎がスタートし、日本人による近代的な海図作りが精力的に開始されました。

海洋情報部（水路部）の歩み

明治4年9月12日	（旧暦7月28日）	兵部省海軍部水路局
明治5年4月5日	（旧暦2月28日）	海軍省水路局
〃	11月13日	（旧暦10月13日）海軍省水路寮
明治9年9月1日		海軍省水路局
明治19年1月29日		海軍水路部 海軍大臣に属する機関（海軍省外局）となる。
明治21年6月27日		路部（海軍の冠称を廃し水路部と改称）
大正10年6月		国際水路局 I H B に加盟
大正12年9月1日		関東大震災のため庁舎・測器・資料の大半焼失
昭和20年3月10日		大空襲により施設の大半を焼失
〃	11月29日	水路部（運輸省外局となる。）
昭和23年5月1日		海上保安庁水路局（海上保安庁は運輸省外局となる。）
昭和24年6月1日		海上保安庁水路部
昭和25年7月16日		水路業務法施行
平成14年4月1日		海上保安庁海洋情報部